

## 発生している所が見たかったニオウシメジ

中林 芳輝

2019年の7月3日仕事中に携帯電話に着信が来た、携帯電話を見ると友人からのラインである。

内容は「もう出ちゃいました」。さっそく、何が出たのか確認のラインを送ると「ニオウシメジ」と回答が返ってきた、2018年9月中旬に発生した所と同じ場所である。私も友人も秋に発生するのを楽しみにしていた。しかし7月の上旬に発生してくれた。しばしば群馬県内では発生が確認されているが、私は生態（発生）を見たことが一度もなかった。

これは、ぜひ、発生している所を見たいと思い友人に連絡すると、その日の17時に友人宅に集合して見に行く段取りになっているとのこと。これは今日なら発生している所が見られると思い午後から仕事を休む事にした。自宅に帰り準備をして、友人宅に向かう。まだ出始めの幼菌ではあるが、始めて見る事ができた（図1）。この状態では胞子の確認ができないので、このまま成長させることにした。誰かにとられたり、触られたりしてはいけないので、甘楽町役場職員に周辺にロープで囲いをしてもらい、群馬県立自然史博物館にお願いをして、博物館の名前で、きのご観察中のため触らないでくださいと張り紙をして、観察を続けた（図2）。

7月8日に20kg位に成長したところで、収穫をして、群馬県立自然史博物館に標本として、持ち込んだ（図3）。現在は凍結乾燥標本にして博物館で管理している。



図1 7月3日 群馬県甘楽郡甘楽町



図2 7月6日



図3 7月8日